

令和6年度 ふれあう共済事業所アンケート結果について

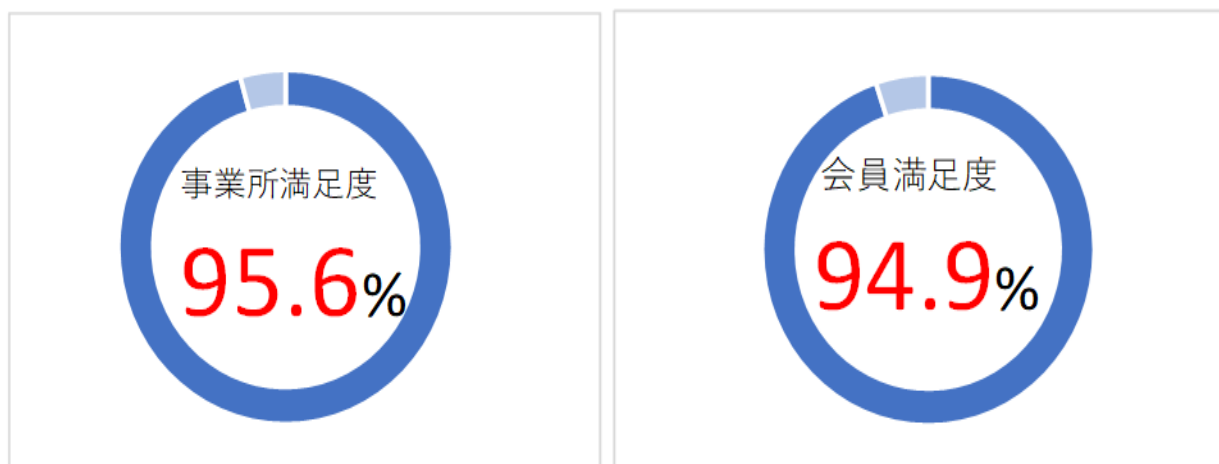
お忙しい中、事業所アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

9月時点の会員事業所2,188所の内、137所に回答いただきました。

ふれあう共済は1人【月額350円】の会費のみで運営しております（全福センター加盟の同様のサービスセンター201団体内、約90%（179団体）は自治体からの補助金がありますが、ふれあう共済は平成25年度より完全自立化しております）。

物価高騰への対策としてコスト削減及び事務簡素化に取り組み、この1人月額350円という会費をできる限り維持し、会員の皆様の多様なニーズにお応えできるよう事業運営を行っています。

また、ここに記載はございませんが、ふれあう共済に対する感謝のお言葉も多数いただきました。会員を拡大し、さらに充実したサービスを提供できるよう努めますので、今後ともふれあう共済をよろしくお願い申し上げます。



1. 企画事業内容、施設選定について

今年度も様々なご意見、ご要望をいただきありがとうございました。

協力施設の選定につきましては、皆様からのご要望をお伝えし、店舗の拡大に努めております。

お引き受けの可否につきましては、先方の都合もございますので、何卒ご了承ください。

引き続き、ご意見をお待ちしております。

2. 宿泊

宿泊費の補助（回数、金額）を増やしていただけると嬉しいです。

通年の映画割引チケット希望。熊本、福岡開催分コンサート・観劇補助の対象拡大。宿泊補助の回数を2回に戻してほしい。

いつも丁寧に色々と教えて頂き、ありがとうございます。宿泊施設利用補助を年に2回に戻していただけると嬉しいです。

また宿泊補助費を行ってほしいです。

割引施設を増やしてほしい。セミナーやイベントの会場がサンライフ熊本以外であったら行きやすいなと思う。宿泊施設利用補助を年度内2回くらいにしてほしい。

要望としては、宿泊など利用補助が年1回に減ったことに対し残念に思う方は増えている。要望は元に戻してもらいたい。現在、補助や祝金など対象外の方たちが特にお得な感じを得られていないので、カタログギフトの入会継続年数の数を増やしてみてもどうか。

●コロナ禍により令和2年度と令和3年度は各種申請（利用）件数が減少したため、**会費を還元する方法**として宿泊施設利用補助について通常「年度内1回」の補助回数を「年度内2回」と増やして実施しました。第5類移行後（令和5年5月）、宿泊補助の申請件数が急増し、年度内2回の継続が厳しい状況となりました。従って、令和6年度より通常の「会員の宿泊につき年度内1回」という補助基準に戻しておりますので、ご了承ください。

3. 人間ドック、コンサート

人間ドック受診補助の対象医療機関の拡大。

人間ドック補助金の年齢引き下げ、35歳からにしてほしい。

お祝い金、健診費助成、各種施設割引補助はとてもうれしい。健診の対象年齢を30代にも拡大してほしい。

コンサート補助金が増えたら嬉しいです。

補助対象のコンサートをもっと増やしてほしい。

コンサートの補助対象の枠を広げてほしい。

対象名を限定せず値段や会場の定員の規模など基準を設けて運用してほしい。

もしくは、宿泊と併用して年度3回まで利用できるなど、利用しやすくしてほしい。

ライブハウスのライブもコンサート対象にして欲しいです。

●会費1人月額350円を維持するため、人間ドック受診補助、コンサートの補助条件は現状を維持します。

●補助対象コンサートについては、「熊本県内で実施されるコンサート」を基準に、想定される年齢層やファン層に偏りが生じないように選定しています。ライブハウスでのコンサートは、1コンサートの収容人数が少ない為、対象外となることが多いですが、対象にするコンサートもありますので、ご了承ください。

4. 給付・補助その他

資格取得の補助金を拡充してほしい。施工管理技士免許。

補助金の枠を増やしてほしい。

会社の押印をなくしてほしい。宿泊の際の領収書の利用について、もう少し誓約を緩和してほしい（ご夫婦での旅行については片方の氏名の領収書での申請可、等）有効期限を全てにおいて年度内に統一してほしい。

ラーメンの補助が良かった。チケット等の補助が申請個人に振込まれると良い。（会社口座からの引き出しをお願いしにくい。）

いつもお世話になっております。以下の4点について要望します。よろしく願いいたします。①振込口座を肥後銀行にしているが、労金口座を登録できるようにしてほしい。②指定コンサートの基準が不明なので、選択肢を広げてほしい。③資格・検定受験補助の対象を3級からに統一してほしい。④請求期限を2ヵ月以内のものも1年以内に統一してほしい。

●資格・検定試験受験補助の対象試験については令和7年度で項目の追加を検討しております。
対象試験について、受験料が4,000円以上(補助金額の50%以上)のものとしておりますので、3級が対象外になっている場合もあります。

●請求期限の期間設定についてですが、年度(4月～翌3月)の利用予測を基に予算を計上しております。利用日から補助支給まで迅速に対応させていただくため、何卒ご協力ください。

●ふれあう共済は事業所様が行う福利厚生を支援する目的で、**事業所様とふれあう共済との契約**に基づき各種サービスを提供しております。そのため、請求書が事業所様から提出されたとの確認のため押印いただいております。また、上記理由から、給付補助金の振込や、チケットの送付について、事業所様を通さずに、会員個人とのやり取りを完結させることは出来かねます。

5. 割引チケット～電子チケット化・申込・利用方法～、HP

割引チケットの電子化。

LINEから割引チケットの申請が出来るようになるとさらに使いやすくなると思います。

会報誌の数に限りがある点や、冊子を常時携帯しないため、割引等の情報が会員に効果的に伝わりきれていない印象があります。外出先などでクーポン情報などが即時にチェックできるようなアプリ等があると便利かと感じます。

飲食店やテーマパークなどの割引チケットを事前申請して受け取る方法よりも、ふれあう共済カードを持っていれば当日使用できると利用しやすいです。

チケット等を申し込んでから、到着までが多少早くなれば良い。

配布チケットの取り扱い期間が長期であると、使いそびれがなく無駄にせず使用できると思います。グランパレッタ以外の映画館も利用できるとうれしいです。

月の割引チケットは、選択なしの共通で使えるものがよい。(アンケート取りに手間がかかる) 月の割引チケットは申込しなくても、会員全員に配布して欲しい。(毎回全員の名前を入力する事務手間を短縮できる)

ホームページを使いやすくしてほしいです。

パソコン HP 画面が見づらい。

●電子チケットの導入、アプリの開発については、相当な費用が必要になるため費用対効果の面で現状での導入は難しいですが、今後も引き続き研究していきます。

●電子会員証の表示機能、チケットの申請から受け取り・使用、会報誌の閲覧、個人の給付補助の申請、申請履歴の確認等々ふれあう共済のサービスがオンライン・HPで完結するようなシステムの導入を目指しております。その開発費用、維持管理費を含め慎重に検討しておりますので、ご了承ください

●公式 HP については改修費を考慮し、近年中のリニューアルを目指してまいります。

6. 事務

① 振込口座を肥後銀行にしているが、労金口座を登録できるようにしてほしい。

●コスト削減の面から、指定金融機関 5 行を増やすことは困難です。何卒ご了承ください。

7. 映画

映画の割引券はいつも利用させていただくのですが、利用できる映画館が増えるともっとうれしいかなと思います。いつもありがとうございます。

映画割引券

映画鑑賞チケット実施店舗拡充、年末に翌年の卓上カレンダー等の配布(抽選でも良いです)

映画割引をイオンシネマ熊本を対象にしてほしい。との声がでています。

映画の割引チケットを通年化してほしい。

映画の割引チケットは要望があります。

住まいが八代なので、なかなか利用できる機会がありませんが研修やセミナーも惹かれるものがあるのでぜひ利用できればと思ってます。特に映画の割引チケット(イオンシネマ対象だと有難い)を利用させていただいてます!これからもよろしく願いいたします。

●映画チケットは、割引チケットの中でも利用率の高いジャンルとなっておりますが、現時点では有人販売を採用している「ユナイテッド・シネマ大江」様のみでご利用いただいております。当該施設の存続問題や、発券システムの機械化(無人販売)に対応するために、割引の仕組みや、利用方法等を検討中です。また、今後は県内各地の映画施設の利用につきまして、サービスを還元できる対応策を検討して参ります。